

村山道

むら やま どう
村山道とは、

むらやまどう むらやませんげんじんじゃ めざ
村山道とは、村山浅間神社を目指すた
めに作られたルートのことです。



村山道の歴史

村山道はなんと平安時代からあって富士山の登山道としてすでに登られていた。

明治時代から新しい登山道ができて村山道は100年以上使われなくなったよ



むらやまどう

どうして村山道がある？

むらやまどう

むらやま

村山道はもうけるため、村山にとまってもらえるようにつくられました。

みち

とざんしゃ

つた

ちなみに道しるべは登山者にルート^{つく}を伝えるために作られました。



むらやま どう 村山道のルート

むらやまどう
村山道のルートは最初に富士山本宮
ぐうじんじゃ
神社をでて、さっきでていたせきひの
めじるし
ようなものを目印にして進んでいきま
す。ゴールは興法寺(今の村山浅間神
むらやませんげんじんじゃ
社)を目指すために設定されたルー
せつてい
ト。

これはまんだらずというものだよ
これは人が登っている時を書いた絵だよ



まとめ

- ・村山道は村山浅間神社を目指すために作られたことがわかった。
- ・村山道が平安時代から登られていた登山道だとわかった。